

子どもたちの健やかな成長を願って

12月1日、厚木愛甲地区更生保護女性会から、手作りの雑巾が届けられました。

この取り組みは次代を担う青少年の健全育成、過ちに陥った人たちの更生支援など、女性の立場から明るい社会づくりを目指すボランティア団体である厚木愛甲地区更生保護女性会の皆さん一人一人が参加できる取り組みとして行われました。

この子どもたちの健やかな健康を願って縫い上げられた手作りの雑巾150枚は、あおぞら保育園や清川幼稚園、小中学校、ひまわり放課後児童クラブで活用します。



少しでも復興支援につながれば

1月17日、宮ヶ瀬自治会・宮ヶ瀬小中学校生徒会・育成会から令和6年能登半島地震災害義援金が岩澤村長へ贈られました。

この義援金は、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地を支援したいという想いから、宮ヶ瀬自治会や子どもたちが中心となり、宮ヶ瀬地区で義援金を募りました。

お預かりした義援金は、日本赤十字社災害義援金として、被災地の方々の生活を支援するため、被災都道府県が設置する義援金配分委員会へ全額をお送りします。一緒に頂いた手作りの募金箱は、生涯学習センター1階・受付窓口を設置しています。



リレーエッセイ



こんにちは。御門の下嶋幸穂さんからバトンを受けました根岸の小杉です。

出身は厚木市ですが、妻との結婚を機に清川村へ引っ越しました。移住の決め手は豊かな自然です。

私が好きなのは暖かくなり、鳥たちがさえずり、楽しそうに飛び回る春。

朝焼けと夕焼けには綺麗なコントラストが空に染まり、少し背筋がピンと伸びるような寒さが顔を出す秋。

小杉家の子どもたちも清川村を満喫しています。

長女は清川村のダンス教室に通い始め、踊らない日もあるけれど毎週頑張っています。

長男は土いじりが大好きで、祖父の畑と一緒に野菜を収穫しています。

次男はまっすぐな瞳で人を見つめて、かわいいねえと言わせていますが、本人は全然分かっていません。

3人とも保育園に通い、先生や友達と毎日楽しく遊び、のびのび健やかに成長せざるを得ない環境でしょう。清川村最高ですね。

次は子どもたちが通う保育園の友達のお父さん、塚田侑平さんを紹介します。



こすぎ しげなり
小杉 茂也さん
(根岸)



すこやか



ひらかわ
平川
あやな
綾那さん 7歳

お母さん 郁美さん 自治会(清水ヶ丘5区)

いつもにこにこ笑顔の綾那。
大好きな登山に水族館など一緒に楽しいこと
いっぱい体験しようね。

ママより

きよかわっ子



ふじた
藤田
さら
紗来さん 7歳

お父さん 真義さん
お母さん 美弥さん 自治会(下舟沢)

妹のお世話や、お手伝いをいつもしてくれて
ありがとう。優しいさが大好きだよ!

パパ・ママより